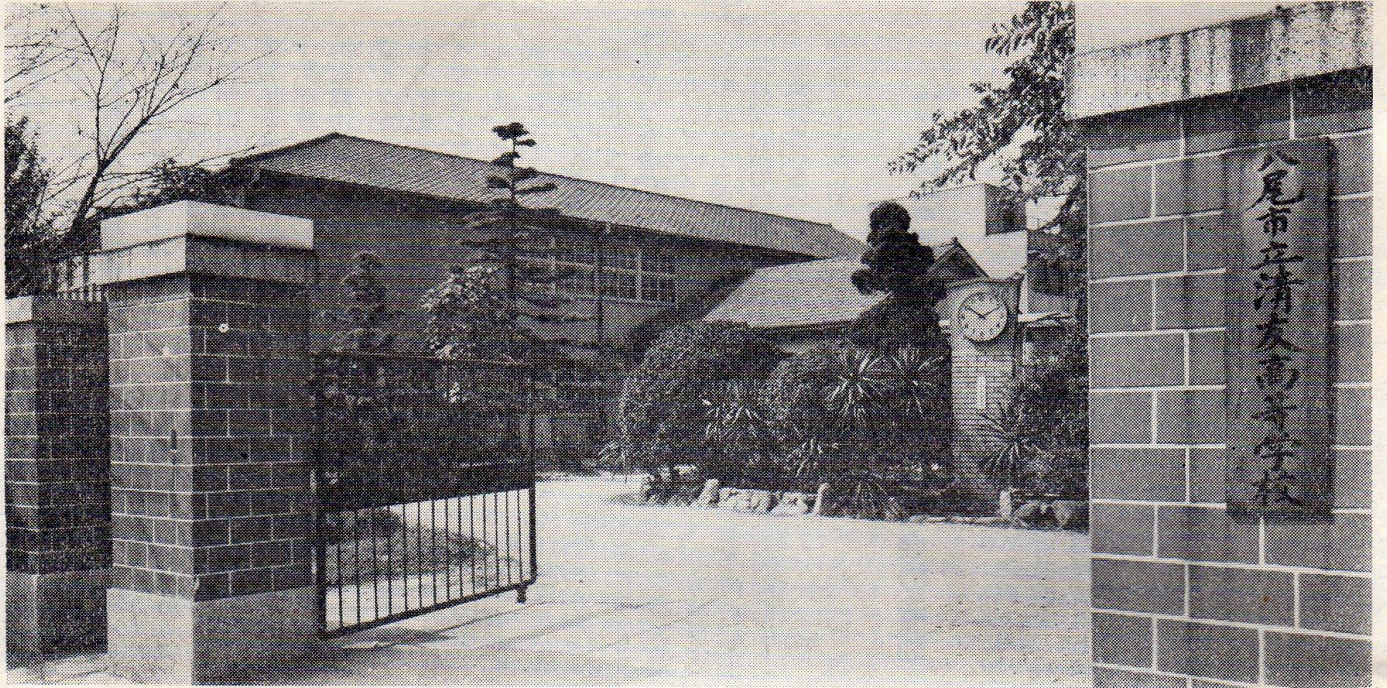


占春会報

第5号

発行
八尾市柏村169-3
八尾市立清友高校
占春会事務局
TEL(0729)22-2067



ごあいさつにかえて

会長 河合 聿 子(二期生 村田)

私がこの仕事を引受けてから、もう五年の歳月を迎えます。順調に発展の途上にありました母校・清友高校の上に、一昨年から新聞紙上を賑わわせております

の母校が消滅してもよいのでしょうか。学校が残っても名前が変われば、これは消滅したことに同じなのです。

で私が申しあげたいことは清友の名が残るか否かは皆さんの動き如何にかかってくるといことです。六千人に近づきつつある

教育行政の改革が非常な危機となつて迫つてまいりました。ここで私達卒業生があらゆる会合、集会において叫んでおりますことは、いかなる状態におかれましても、清友高等学校の名前を残してもらわなくてはならない。これは絶対に！という言葉をそえて、叫んでまいりました。長い人生において、一番大切な人間としての成長期は高校時代であり、その大事な時期をすごしたのは、皆さんにとつては清友高校なのです。そ

例えば、就職、結婚などにおいて出身校を記入する場合、存在しない母校名を書くむなしさ、悲しさを考えられた事があるでしょうか。私は知人からその悲しい声を身をもって聞かされた事があります。清友の卒業生には、そのような悲しい思いをさせたくはありません。この悲しみは私達卒業生だけでなく、愛しい息子、娘にも影響を与えるわけなのです。大阪府立に移管される事が決定すれば、この問題も大きくクローズアップされてきます。こ

現われてもいいのではないのでしょうか。(男女共学の意)如何なる形態の学校に変わるとも、私達の母校はいつまでも、いつまでも清友高等学校でありますように……。

五月二十日(日)

PM一時〜三時 於母校講堂

【第一部】

- 富田校長あいさつ
- 会長あいさつ
- 新入会員あいさつ
- 議事
- 新役員紹介

【第二部】

美しい紙人形を作りましょう。

新会員歓迎

総会ご案内

- 一、材料費 五〇〇円
- 一、用意するもの
はさみ、ピンセット、
筆軸二本(ハミ・五ミの太さ)
- 一、人員 二十名で締切ります。受付当日。

◎今年卒業された方には待望のアルバムをお渡します

清友はどうなる!

—府立移管運動の経過について—

学校長 富 田 八 郎

特集ページ

〈1〉

総合選抜制加入へ

大阪府学校教育審議会において検討されており、総合選抜制の問題をめぐりこれが実施される場合には本校も加入できるよう、四十六年度に「総合選抜加入推進協議会」を作り、学校あげて加入のための条件整備を行なうよう市当局に強く要望してまいりました。

しかし、この総合選抜制の問題は、四十六年度には結論が出ず、審議会では通学区の改正を行なうよう答申するとともに、学校間格差をなくすための措置を早急に講ずるよう要望が出され総合選抜制の問題は今後更に検討されるべきものとして四十七年に至りました。

府立移管運動

しかし、この総合選抜制はいずれ実施される可能性が強いのです。また四十七年の答申の中にもうたわれている学校間格差の解消という点からも、前年度から要望してきました総合選抜制加入のための条件である

① 施設設備の改善
② 授業料等父母負担の軽減

③ 男女共学化

は、やはり早急に実現してもらおう必要があります。これらの諸問題の解決と八尾市の現状とを考えると、この際、府に移管されるのが一番良い方法ではないかという結論に達しました。

また本校の近接地に、四十八年度より府立高校が新設されるといふ事を考え合わせると、今が府立への移管運動を行なう最も良い機会であるということになり、四十七年六月に八尾市教育長とPTA実行委員との間で、このことが話し合われました。さらに市長にもPTA役員が会って意向を確かめたところ、その意見に賛成とのことで、PTAとしてもこの運動を積極的に進めることになりました。

促進委員会の活動

その後、この運動を進めるについて、委員総会、総合選抜制推進協議会にも賛同を得、また新たにPTA占春会、清苑会を中心として、別に「府立清友高校実現促進委員会」を作り、強力に運動を進めることになりました。当面の目標としては、四十七年度府立移管を実現することとし、その

ために近くに行ける新設予定の第七十九高校と合併しこれを清友高校にしてもらうことが一番実現の近道ではないかということになりました。このため地元三府会議員にPTA役員が数度にわたり協力方の依頼を行なうとともに、八尾市長助役、教育長とも再三連絡を取り要望致しました。七月十九日にはPTA役員が岸副知事、鎌田副知事と会い、その際「清友高校を府に移管することについては承知した」との確約を得ました。しかし、時期、方法については今後の問題として残されました。そこで、この運動をさらに強力に行なう必要があり、夏休み間際でしたが、早速陳情書の署名を皆様に依頼し、協力を得た次第です。

約束された府立

移管と今後の問題

大植総務部長から「府立移管は約束するし、それも最優先にしよう」という回答を得ました。しかし、第七十九校への合併、また移管の時期などについては明確な回答が得られず、今後に持ちこされました。

第七十九高校と合併することについては、考えが二つに分かれました。一方では、地元八尾市選出府議および市会議員の一部に、八尾市に一校でも多くの高校をとという立場から、時期はおくても清友高校は別に用地を確保し、単独で府立高校にすべきだという声が根強くあり、もう一方では格差解消が先決で、即刻府立移管の立場からは第七十九



八尾市も積極的に:

かくて九月二十日には、八尾市民ホールを借り「府立清友高校即時実現大集会」を開き、約四百名の父母、卒業生、卒業生父母および教職員が参加し、出席の八尾市長はじめ、教育委員会、議会代表者に即時府立移管を訴えました。その席上、八尾市長、市議会副議長からは、挨拶の中で全力をあげてこの問題に取り組むとの強い意志表明がありました。

引き続き九月二十七

特集ページ 〈2〉



市民ホールの集会（壇上は河井会長）

TAの運動を引きつぎ、積極的に府に当り、結論を引き出すことになっております。市議会ではこの間、九月二十五日には「市立清友高校の即時大阪府移管を要望する」決議（別掲）を行なっておりますし、市当局はじめ関係者が府理事者と積極的に折衝をしてくれて

います。

その後、市当局、市議会が府当局と正式に折衝を始め、二月下旬に八尾市文教民生正副委員長と市長、助役、教育長との会談で、校地の取得を一日でも早くすることが先決であるということでは一致し、少なくとも位置、価格ともに府と協議する必要がありますので、六月の市議会定例の日までに土地を確保することを約束しました。現在地での府立移管が無理な現状では止むを得ないことと思っておりますので、市当局に一任することになりました。

× ×
× ×

占春会の皆様、日々いかがお過ごしですか。去年はこの会報を休ませて頂きました。その理由と学校選抜制についての詳しい事は校長先生および西沢先生の記事を読んで下さればよくお判り頂ける事と思えます。大阪府庁、八尾市役所への陳情と、校長先生はじめ諸先生方、PTAの方々、それに我々占春会の者が一丸となって「清友」の名を残して頂けるように頑張っております。そのつど占春会員の方々も早朝よりご協力頂き有難うございました。

開校以来女子校として、女らしい女性、母親らしい

取って校名にしています。場所が変わり、校名が変わりましたらどこに「清友」の面影を見出すことが出来ましょう。

「清友」この名だけは何としても残して頂かねばなりません。そのためには私たち役員の方だけではとても及びません。母校を失うという悲哀は味わいたくないものです。どうか皆様も「清友」の名を守るためにご協力下さいますよう紙面を借りてお願い致します。

今後この問題のために署名運動を起こす事があるかも知れませんが、その節はくれぐれもよろしくお願致します。

書記 松谷照子（一期生）

昭和47年9月25日の八尾市会本会議で可決された決議の内容は次のとおりです。

市立清友高等学校の即時大阪府移管を要望する決議

八尾市立清友高等学校は昭和31年9月学校法人清友学園より、八尾市に移管され、八尾市立清友高校として発足した。しかしながらその内容は、府立高校同様の役割を果たしており本校を今後も八尾市立高校として維持することは、次の点において問題がある。

1. 規模、設備等府立高校との格差は歴然としており、これを改善することは本市財政上不可能であること。
2. このままでは教育の沈滞が起こるおそれのあること。
3. 現状では、将来総合選抜制度が実施された場合、除外されるおそれがあること。

以上の理由で、大阪府におかれては即日本校を府立高校として府に移管され、速やかなる具体的計画の確定及び移管の時期を明示されることを強く要望する。

特集ページ

〈3〉

“清友のいのち” を守ろう

西 沢 小 枝

占春会の皆様お変わりございませんか。毎年春にお届けする会報、去年は休刊いたしましたので、不審に思われる方もあるかと存じます。昭和四十六年頃より公立高校入試の選抜方法にからんで「清友」の将来に大きな障害がもたらがりまして、去年の春は暗黒模索の状態でしたので、展望のないままの状況をお知らせしてもと休刊にし、やっと展望の開けた今春、第五号を発刊し、皆様にその経過をお知らせすることになった次第でございます。

危機再び

今日に至る経過の大体は前頁の記事で了解いただけたことと存じます。昭和十六年、戦時下のあわただしさの中で誕生した清友はどこまでつまずく運命を背負っているのでしょうか。

二度も危機にさらされました。その第一は、清友会の手から八尾市に移管された時のこと。私学として存続することを主張すべき立場にあった私たちが、吉持校長以下全職員一つになって市移管に踏み切ったのは、このままでは卒業生も在校生も母校を失うという危機に立ったからでした。清友の発展のため、卒業生や在

校生の幸せのために、創立以来の清友の名を残し、女子の高校として存続させるというたてまえのもとに、八尾市移管が実現したのでした。

こうして最初の危機を乗り越えた清友は、公立高校として内容、外観ともまだ十分とは言えないのに、総合選抜制という入試改善の問題にからんで、第二の危機にぶつかりました。高校間の格差をなくし、受験のためにゆがめられた高校教育を本来の人間教育にもどす目的のもとに、総合選抜制という入試方法が考えられ、早晚実施される可能性が大になりました。これが実施された場合、清友はどうなるのでしょうか。

総合選抜制の

もたらすもの

この制度に入るための三つの条件—共学であること施設設備が府立高校並みであること、授業料その他の費用が府立並みであること—が、三つとも清友には欠けているので、この制度実施に当っては除外される公算が大きいのです。もし除外されたらすれば、生徒はもっと取り戻した誇りをまたもや失い、他の高校と

の格差がひどくなって質的に低下し、遂には普通通高校としての存続さえ危ぶまれるのではないかと推測されます。この危機を切りぬける唯一の方法として、昭和四十七年度中に、府立移管運動が展開されるようになりましたが、その経緯は二〜三頁の校長先生の文にありますので、ここには省略いたします。

共学への流れ

ここで今、清友は学校をあげて府立移管実現を一日も早くと願っている状態ですが、このたびの改革の中で、直接私たちが考えねばならぬことはまず共学の問題です。これについて、最も古くから清友と共に歩んできた私たちが、どういう立場をとってきたかをふりかえってみましょう。女子校として出発した当初から

女子高校として市に移管されるまでの歴史を経てきた者であり、女子高校としての存在意義を考える中で、いろいろ足りない点はあったにしても、女性としての自覚と誇りを持たせるよう努力してきた者として、時代のすう勢とはいえず、すぐに共学にというわけにはいかず、苦しい思いをしました。しかしその中で、共

学は避けられないと考えるようになったのは、第一の危機の時と同じく、清友の発展と生徒の幸せを思いささやかな私情を乗り越えたからです。卒業生の皆さんの中には、やっぱり元のままの女子校でいいのにと思っておられる方もあるでしょう。また若い方で早く共学になればと待ち望んでおられる方もあるでしょう。が、この総合選抜制実施—府立移管という時の流れの中で、共学はもはや避けられない現実の問題となつたのです。

清友と占春会の名を守る

次に清友が二度目の脱皮をして、大阪府立清友高校となる日のために、何をすればよいかを考え、この稿を結びたいと思います。まずその第一は中身の問題—これは在校生に関わる問題なので、ここには簡単に述べますが、清友が生まれ変わる日のために、三十何年の歩みの中で女子高として築いてきた伝統を一朝にして捨て去ることなく、どこまでも知性と情緒のバランスのとれた女性の育成を忘れないこと—。第二は卒業生の皆さんにとって最も切

実な問題で、四十七年九月

二十日「府立清友高校即時実現大集会」の時、占春会会長の河合さんが涙をのんで言われたように「清友」の名を残し、同窓会「占春会」をそのまま引き継いでもらうことです。これが叶えられない時、占春会員一人一人は勿論その家族の嘆きは、どんなに大きかろうと、身のちぢむ思いがいたします。母校は残ってもその名を失う悲しみを、皆さんに味わねばならないこと、私たちが、最もしのびないことです。殊に創立以来清友にいる私としまして、皆さんに顔向けできないとまで思っています。「清友」の名と「占春会」の名は何としても守りぬきたいものです。

何千名の卒業生の皆さんいま母校は以上述べましたような経緯を経て、やがて第三の誕生の日を迎えるための準備をしております。あなた方の愛する母校、私たちの愛する清友の運命を皆の力で立派に切り拓いていきましよう。

いくそたびつまづきありし清友のいのち定まる時は来向ふ
変貌の時きたるとも清友のいのち守りて伝えんと思ふ

昭和五十年府立清友高校の生まれ出づる日待ち望まらる(四八・三・二一)

校長随想

人の生き方

ドロッカーの「現代の経営」という本に、つぎのようなたとえ話がある。

三人の石切工に、あなたはここで何をしているのかと尋ねたら、それぞれ次のような答えをしたという。

①わたしは、これで生計を立てている。

②わたしは、国中で一番良い石切りの仕事をしている。

③わたしは、ここにすばらしい寺院を立てている。

勤労者が労働の報酬として賃金を貰うのは当然だから、①の答えは正しい。しかし、食うために働くという事は、人は何のために生きるかという人生の価値観からすれば、次元の低いものである。②の人は、①の生活の上に自己の技術に對する誇りをもってゐる。③の人は、さらに生きがいとしての使命観に徹しているのである。同じようにタガネを打ちこんでいるよう

に見えても、彫刻家の一刀三礼と同じ心境であろう。すなわち①の石切工は自己中心の現実主義者である。②の石切工は技術に對する誇りを尊重する態度であり、③の場合は福祉社会建設への理想性の萌芽を見る事ができるようである。

これは人の生き方にある型を示したもので、皆さんの家庭設計の中でもこれに似た三つの型に入れてもよいものがあるかも知れない。

これを一応前向きとして明治の教育者として知らない人もない福沢諭吉先生の「心訓」をかかげて、その中から皆さんのこれからの人生の指針を発見してもらいたい。

心訓 福沢諭吉翁

一、世の中で一番楽しく立派な事は、一生涯を貫ぬく仕事を持つと言う事です。

一、世の中で一番みじめな事は、人間として教養のない事です。

一、世の中で一番さびしい事は、する仕事のない事です。

一、世の中で一番みにくい事は、他人の生活をうらやむ事です。

一、世の中で一番尊い事は人のために奉仕し、決して恩にきせぬ事です。

一、世の中で一番美しい事は、すべての物に愛情を持つ事です。

一、世の中で一番悲しい事は、うそをつく事です。

明治維新百年前の先生の教えであります。皆さんの心の琴線にふれるものがありましようか。これがあなたの人生の行方にかの参考になれば幸いです。

富田 八郎

一昨年度より府学校教育審議会が検討している選抜制度改革をめぐって、清友高校も大きく揺れ動きました。

現在の学校教育がかかえている矛盾の中で、特に入試制度に問題があることは早くからいわれ、その制度改革の一つとして「総合選抜制を実施すべきである」という意見が強く言われているのですが、この制度になった時、清友高校などの衛星都市立高校が、この制度から外されるおそれがあり、そのためこの際清友高校を府に移管し、府立にしようという事が、将来のためにも良いのではないかと

いうことで、PTA、占春会、清苑会(PTA・OB)、職員が一丸となって、昨年度は府立への移管運動を大々的に展開いたしました。詳細は二、三頁に出ている通りですが、その結果近く府立になることに内定しております。ただ府立になれば、府の方針として、男女共学になることになり

現在の場所では狭いので移転し、校地、校舎とも新しくすることになっていきます。そうなる清友高校も一変するのですが、今後はその時期を少しでも早めてもらうとともに、いままでの清

友学園時代からの伝統はあくまで受けつぎながら、府立清友高校として立派に再出発できるように努力していきたいと考えています。



教頭 小西康弘

生徒の状況を申しますと文化祭体育大会などはクラス単位の参加などもあり、賑やかに楽しくやっていますが、地道な活動に乏しいようです。

クラブ活動も低調ですが、剣道同好会、落語研究会、陸上競技同好会など同好会形式のものが出来たりして、最近の高校生の考えの一端を表わしているようです。なお、ソフトボール部の日吉律子さんが今年の沖繩国体の府代表選手として選ばれ参加することになりました。

本年度の入学試験の合格発表は三月二十日に行なわれ、十五名の人が涙をのみましたが、四月から二百七十名のフレッシュな新入生が入り、清友も活気をとり戻すことでしょう。先に述べましたように清友の前途

は約束されているとはいえず府立移管の過程が円滑にいきますよう、今後とも皆様のご協力、ご支援をお願いする次第です。

本年卒業生進路

【卒業生総数】

- (内)進学 二百七十四名
- 就職 百二十八名
- 家事従事 百三十三名
- 十三名

【主な就職先】○内は人数

- 日本生命四 住友生命四
- 大林組三 松下電器三
- 日本通運三 野村証券三
- NHK二 帝人二 東洋紡二 神鋼商事二 日本交通公社二 など七十九企業、公務員を含め百三十三名決定。

【主な進学先】

- 四年制
 - 四天王寺大 関西外大
 - 武庫川女子大 天理大
 - 帝塚山大 大阪音楽大
 - 桃山学院大
 - 近畿大 大阪市立大(二部) など
- 短大
 - 常磐会短大 成蹊女子短大
 - 帝塚山短大 相愛短大
 - 四天王寺短大 など

その他の学校
|| 經理専門学校、看護学院 など
以上三月十九日現在

忘れがたい一頁

このたび諸般の事情から清友を辞し、府立高校へ転勤することになりました。早いもので、考えてみると清友へ来てもう九年が過ぎてしまいました。でも九年という歲月への実感はほとんどありません。ただ、今のぼくには、この九年間にあった様々な出来事の一つ一つが、錯綜した時間軸のなかから、鮮烈な映像となって浮んでくるだけです。

青春がもつとも価値あるのは、情熱という炎で身も心もやきつくしたときだとすれば、清友は常にその可能性を与えつづけてきたとぼくは思います。

今日の複雑な社会の中にあって「学ぶとは」「教えるとは」「生きるとは」という問いに、清友はいつも一定の答を提示してきたとぼくは思います。

人間として、より正しくより誠実に生きることが問われているとしたら、清友は一貫してそのことを追求してきたとぼくは思います。

教育が理想へのあくなき追求だとしたら、清友の教育はまさにそのものであったとぼくは思います。

この九年間、ぼくは様々

の事を学ぶことができませんでした。ぼくにとっては空白に等しかった高校時代が、どんな意味を持っているのか、教師としての自分が置かれていた位置や、教育が何を問われ、何を要求されているのかを知ることができませんでした。そして何よりもまず、ぼく自身が一人の教師として、一人の人間としてどう生きていかなければならないのかを教えられました。

清友におけるこの九年間の生活は、恐らく卒業した皆さんがそうであると同様に、多くの人生の最も忘れがたい一頁になることでしょう。

男女共学や府立移管の問題など清友は現在新たな岐路に立たされています。しかし、多くの卒業生のみならず、先生や、教師たちが努力して創りあげた良き伝統は今後も引きつがれていくものと思えます。そして更に新たな発展を期待したいと思います。

最後に、卒業生のみならずの健康と今後の大いなる飛躍を心からお祈り申し上げます。

勇上 和 市

こんにちは

占春会の

皆さま

なつかしい清友から新設の門真高校に転動いたしました。二年が過ぎてしまいました。はじめて教える共学校で、男子が並んで



いるのを「やあー、いるわー」と身のすくむ思いで見たりして、動まるかと心配しましたが、慣れてしまえば清友の愛らしい女の子たちと少しも変わりませんでした。おとなしい子もいれば、元気なあばれん坊もいて……でも大体人なつこく

甘えたで、あっさりしています。学校の雰囲気は大変明るくのんびりしておりますが、この春には校舎も完成し、一期生も三年になりますので、そうのんびりもしてはおれなくなりました。

この二年間での私自身のもう一つの大きな変化は、昨秋結婚したことでござい

ます。お世話くださる方がいて、やはり高校で理科を教えている人と一緒に生きることになりました。藤井寺球場の近くの住まいで、門真への通勤にはずいぶん遠くなってしまいました。私は朝七時前に家を出、ダシナ様の帰りは定時制なので早くて夜九時半。一日に顔を合わせているのは三時間あればよい方：ソレガカエツテヨイノカモシレマセンネ：家のことも、今のところお母さんがいてくださって私は甘え放題、おかげで遠い門真でも何とか続けていられるという次第です。

朝、時に車で外環状線を通ることがあります。その時には必ず「ほら、あれが清友よ」「ああ高山」と、もうわかりきっているのに横の人に言っておきかして自己満足しております。やはり私にとって、清友の七年間はただただなつかしく、何かにつけて思い出さずにはおられないもののようにです。

何かつまらない私事で貴重な紙面を費してしまいました。これも私の清友への愛着の故とお許し下さい。

占春会の皆様、どうぞ御身お大切に、それぞれの方面で精一杯ご活躍下さい。そして、たまには藤井寺の方へもなつかしいお顔を、どうぞお見せ下さいませ。

浅野とも子

職員室から

【転任・退職】

坂本康男先生(数学) ↓

府立和泉工業高校

春日幸子先生(養護) ↓

奈良県立北和女子高校

勇上和市先生(理科) ↓

府立東豊中高校

山口英雄先生(国語) ↓

府立長野高校(新設校)

末広芳広先生(数学) ↓

創価女子高校

小田泰子さん(助手) ↓

進学のため退職

中井孝夫先生 ↓

福井県立若狭高校

田井稔乃先生 ↓

研究のため退職

【転入・新任】

藤岡佐紀子先生(養護)

市政委より

田島勤也先生(国語) 市

立成法中学校より

中川道広先生(理科) 新任

中本新一先生(社会・国語)

奈良県平郡中学校より

転任(昭和47年4月)

小阪義三先生(数学) 大

阪教育大学専攻科卒

大村健三先生(数学) 大

阪市立大学卒

石樽清司先生(体育) 京

都教育大学専攻科卒

安田智子先生(体育) 天

理大学卒

下野志賀子さん(助手)

本校卒業生

中村英明先生

四十七年三月

井上弘之佑先生

四十七年四月

大竹和先生(改姓) 武田

昭和四十八年三月

|| 赤ちゃん誕生 ||

大江(安田) 和子先生

長女 四十七年二月

畑(中谷) 昭子先生

長女 四十七年五月

簀喜好先生

二男 四十七年一月

土井絃雄先生

長女 四十七年三月

東国恵先生

長男 四十七年九月

三智博久先生

四十七年九月

勇上和市先生

長男 四十七年十二月

中井孝夫先生

長男 四十七年十二月

中村英明先生

長男 四十八年四月

長男 四十八年四月

われらがおちいちゃま
山家先生が、お元気で八
十八才の米寿を迎えられ
ました。久しぶりの御来
阪を機に、お祝いをかね
て一、二、三期合同で同
窓会を開いたのです。

4月14日、なにわ会館
出席約50名、西沢・齊藤
・大津先生もかけつけて
下さり、盛会でした。

ささやかながら記念品
をプレゼント、先生も
「小生の一生涯中最大の
思い出」とまでおっしゃ
って下さり、遠方のこと

山家先生、 米寿のお祝い

だし、再びこれだけのメ
ンバーにあえるかどうか
わからぬ、とお喜びで、一
同感激いたしました。

おみやげに、小冊子
「私の健康法」を頂戴し
ご説明がありました。先
生の最後の御授業をうけ
なかつた一〜三期ですか
ら、退官記念講演と心得
て拝聴したのですが、会
場の制限時間を心配した
幹事が、おそろおそろ講
議カットを願ひ出て「い
やいやもうちょっと、最
後まで」と手をふられる

など、休憩のベルが鳴っ
てもまだ5分はたっぷり
あった、昔の数学・生物
の時間を思い出したので
あります。

なお、一期生い組で、
学徒動員中に病死された
琴谷倫子さんの父上が、
この催しを聞いてご出席
くださいました。倫子さ
んは甘えん坊の一人娘で
父上は文字通り目の中に
入れても痛くないほどに
可愛がっておられたので
す。

成長してオバちゃんに
なった娘の同級生を前に
山家先生と語られる父上
に、私もはわが老いた
父母の姿を重ね、且つお
かっぱ姿の倫子さんの笑
顔を目前に思い浮かべた
のでした。

数学的表現？なら感動
の自乗か三乗のような一
ときでしたので、ご用で
ご出席頂けなかつた方々
にご報告いたします。

一期生幹事 六島・原田
中野・角矢・田中。

クラス会復活

昭和三十三年普通科卒業
の私達は、去る昭和四十七
年七月の日曜日に恩師・西
沢先生を迎えて、上六百衆
に集まり、クラス会を開き
ました。クラス会はこのし
ばらくとだえていましてが
級友・有江美津子さんが、
同年五月に不幸な死をとげ
たことから端を発し、それ
まで欠けていた級友間の親
密な連絡をとり戻そうとの
意見と、そして長い間、開
かれなかつたクラス会を、
卒業当時と同様に開いて、
親しく語り合おうとの意見
から開かれたものです。



西沢先生からの母校の近
況の報告のあと、お互いの
近況について歓談が始まり
ました。席に有江さんの
姿が見当たらないのが淋しさ
を呼び、彼女の思い出話が

自然と話題となりました。
久しぶりに会う級友の顔は
卒業してからもう十四年余
りも経っているのに、卒業
当時と殆んど面影は変わら
ず、強いて言うなら、少し
貫禄でもついたかなアと
思われるほどで、誰を見て
も気持ちはまだまだ若く、
自慢話あり、且那樣の話あ
り、子供の話あり等々：話
はいつまでも尽きない次第
で、時間は見る見る間に過
ぎ、延々四時間にも及んで
しまいました。

今回の出席者は十二名で
はありましたが、とても楽
しい一日を過ごしました。
今後もっと皆んなが出席
してもらえるように、お互
いに連絡しあい、一人でも
多く出席して思い出にひた
り、これを人生の励みとし
て、毎年一回は集まること
にしよう、と、再会を約束し
ました。

三十三年卒 三谷浩子

戦火を共に くぐった世代

この原稿を頼まれて、あ
つあれは何時ごろだったか
と、日にちを思い出すのに
大変苦労する。いつでも何
でもこの通りである。若い
時はこれ程でもなかつた。
多かれ少なかれ、こんな症

しそうな私達だけど、いつ
までも若く、美しく生きる
ことの喜びを探ることの出
来るよう、そんな同窓会に
なりますよう祈っております。
皆様も、ふらりと気楽
に来て気のすむ会になりま
すよう盛り上げて下さい。

二期生 やまぐちひさこ

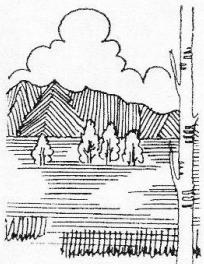
昔なつかし 信貴山で

新緑のさわやかな風と共
に、また私共のクラス会の
通知が舞い込みます。十八
年ぶりに始めての会合を持
つて以来、毎年幹事を交替
しては、それぞれが知恵を
出し合つて、場所を設定し
みんなに連絡します。もし
て毎年変わった場所、顔
を合やすことになりました。
今回は場所も昔なつかしい
信貴の山中で、静かなうち
にも話はずみ、楽しいひ
と時を過ごしました。

榎根先生は、残念ながら
他にもお約束があるとかで
御不参でしたが、わざわざ
会場までお電話を頂き感謝
致しました。

昭和二十六年度卒

家庭科 福田嘉代子



しのび草

石田恒次郎先生（保健体育）の訃報を聞いたのは、昭和四十六年初夏の昼さかりであった。急遽、会長さん運転の車に同乗して大和路へ向う。大体の道順は聞いていたが、慣れぬ道とて何度か迷い、ようやく辿りついた時はすでに一般焼香が終っていた。特別に家族の方達と共に最後のお別れをした。

在りし日のたくましい先生ではなく、ぐっとお年を召し、本当におじいちゃまといった風貌で年輪の刻まれた美しいお顔であった。が、ふと年古りたる我が肉親の事など思い合わせ胸が熱くなる一瞬であった。生きとし生きるものすべて、いつの日にか土に帰らねばならぬと知りつつも、その訣別の時は悲しく切ないものである。生きている倅せをぐっとかみしめながら出棺を見送った。

かかる事ができた。現在は曾根崎署で主幹をなさってられるとか、今は亡き生田先生、錦織先生、浅井先生それに石田先生の活躍中のわが青春時代の事など話がつきず、生きてゐる「あかし」を大切にしなければと思いつつお別れをした。

昭和二十三年卒

中易敬子

児玉先生いやは、私達には桜井先生とお呼びする方がなつかしく思い出されるのでございます。でも、もう桜井先生とも児玉先生とも、お呼び出来ないなんてとても信じられません。こんなにも早く永遠のお別れをするなんて…。

私達が中学校を卒業しまして、二十年近い歳月が流れましたが、指折り数えて今更のように驚いております。その間、一度もクラス会を開かなかったなまけ者の私達。どんなにか先生も私達とお話がなざりたかつた事でしょう。

先日、旧姓児玉さん、桜井

先生はよく「チーチャン」と呼んでおられました。そのチーチャンとありし日のお姿をアルバムの中に見つけて、しばしの間、なつかしい中学生時代にもどりの思い出にひたつたのでございます。先生との数々の思い出が昨今の事のように甦ってきました。そう、先生と初めてお逢いしたのは中学二年生、クラス担任として、若いエネルギーあふな音体の先生として赴任してこられた時でした。目鼻立ちのはっきりした、やや大きめの口、ゆたかな胸をいつも黒い服につつま、肩を左右に振り振り歩いて行かれるあのお姿は、今も目のあたりに思い出すことが出来ます。三年生の頃、数学の先生との間にロマンスが芽生え、ご結婚され、私達も乙女心をわくわくさせたものでした。

人の世の哀しさをしみじみ感じ、残念でなりません。一度学校で急に倒れられた事がありました。赤ちゃんがお出来になる時も、とっても危険な目におあいになりましたが、とっても丈夫な赤ちゃんがお生まれになりました。私達も赤ちゃんが早く見たくって、楽しみながら初着か何か、お祝いの品を買って病院へおしにかけて行ったのでした。私が高校を卒業して、デパートの婦人服お眺え係にいた時、わざわざ注文下さって紫色のワンピースをお作りいただきました。その時もちっともお変わりない体格でお元氣そうでしたのに。それも十五、六年前の話のようにには思えません。

先生の授業は私にはとても苦手でした。「喜びを表わしたダンスを創作しなさい」宿題「私達は放課後、頭をひねりこまっています。運動会のダンスはとも楽しんでました。先生との思い出は楽しかった事ばかりが走馬灯のように繰りかえし、くるくると思いついでしよう。

ご生前にもう一度お目にかかりとうございました。さっとうかご仏前でクラス会を開き、先生の思い出

話に花を咲かせたいと思います。二度とお逢い出来ないう事はどうしても悔まれてなりません。

最後に先生のご冥福とご家族のご健勝を心からお祈り申し上げます。

昭和三十二年卒
井上啓子（旧姓平井）

悲しみ

佐野美津子さん

（33年卒 旧姓有江）
昭和四十七年五月歿
那 あづささん（44年卒）

お二人とも悲しい死を遂げられました。よくよく思いあまる辛い事がありました。だったのでろうと傷心の極みです。何の力にもなれなかった事が悔まれてなりません。今はただ、苦しみのない世界での

ご冥福をお祈りするばかりです。

川村満智子さん（20年卒）
昭和四十七年白血病にて歿。

今度のクラス会幹事はグループの方だから卒業以来の珍しい顔をお見せ下さるわ、と心待ちにしていたのに：思いがけずご家族からの悲しいご返事、とりあえず会の帰りにお花をお供えました。



バレエスクール開校

このたび一期生山本小糸さんが、箕面市で山本バレエスクール（本校を開校されました。同市桜井一丁目13-25 築ビル二階です。新しいビルの新しい教室で生徒さんも大ハリキリ。お子さんにバレエを、とお考えの方はお問合せを……。

ユミ美容室開店

姉妹ではじめた美容室「板倉由紀子さん（姉42年卒）と三弥子さん（妹45年卒）」のお店です。恩智駅東南15分、農協南隣です。彼女たちガンバッテマス。先輩・後輩の皆様ご声援を！

ミニ・ミニ情報